

最優秀賞

福岡・西日本短期大学附属高等学校 三年

山下 茜莉

月涼しまだ履き慣れぬ下駄の音

優秀賞

青森県立七戸高等学校 三年

長澤 大我

故郷に悪友ひとり鳥渡る

福岡・西日本短期大学附属高等学校 三年

原田 千寿

南風頬張るシャツが向かう海

佳作

埼玉県立上尾南高等学校 三年

松澤 茉奈

晩夏光夢に到達する速さ

鹿児島・ラ・サール高等学校 一年

河野 伊吹

来るのなら雪も一緒に連れて来い

福岡・西日本短期大学附属高等学校 三年

内野 有咲

天を撃つ竹の大砲どんど焼き

茨城・常総学院高等学校 二年

白井 翔

夏の夜の螺鈿さざめく琵琶の音

埼玉・慶應義塾志木高等学校 二年

岩見 優志

桜さく一本道を一人行く

入選

二塁手の守備位置深し獺祭忌

岩手県立水沢高等学校 三年

村上 瑛

蝉の目は輝いており死してなお

岩手県立水沢高等学校 三年

菅原 はなめ

十薬の匂いのように刺さる恋

愛知県立幸田高等学校 一年

大橋 愛香

スパイクの砂を払ひて晩夏光

岐阜県立吉城高等学校 一年

松田 将吾

亀といて声の聞きたし白日傘

京都・同志社国際高等学校 三年

吉本 沙生

透かし彫りの海月が浮かぶバケツかな

神奈川県立麻生高等学校 二年

町田 萌絵

雨つぶの音静々と若草へ

東京・安田学園高等学校 一年

北村 祐

吹き抜けにホルンが響く夏休み

東京・芝高等学校 三年

宮本 舶

子どもらの歌声響け原爆忌

長崎・純心女子高等学校 一年

福田 星来

向日葵や真っ直ぐな目で君に向かう

福岡・西日本短期大学附属高等学校 三年

江崎 美結

俳句の部選評

俳人

堀本 裕樹

第二十一回全国高校生創作コンテストに応募してくださった皆さん、ありがとうございます。このたび、俳句部門の選者を初めて担当させていただきました。どんな句に出合えるか、期待に胸を膨らませながら一句一句に目を通していきます。

総評としては、俳句の基本である季語や切字などを学んだうえで真剣に作っている人と、そうでない人との差が激しいなと思いました。説明や報告や標語のような、ただ五七五で詠んだものを俳句と考えているのであれば残念なことです。俳句は詩です。次回はさらに多くの詩心の高い作品を期待しています。

では、入選を果たした句を観ていきます。

月涼はまだ履き慣れぬ下駄の音

最優秀賞の山下茜莉さんの作品。季語は「月涼し」で夏。祭か花火大会でしょうか、浴衣を着て履き慣れない下駄で出掛けたのです。単に履き慣れないだけでなく、その音まで詠んだのがこの句の繊細なところです。履き慣れていればいい音をさせますが、どこかぎこちない下駄の音を自分で認めているのです。頭上には夏の涼し気な月が出ており、待ち合わせしている誰かと会うであろう清新な喜びの象徴のようにも見えます。これから始まるかもしれない恋の予感を「まだ履き慣れぬ下駄の音」に聞き取って

も物語が広がりますね。

故郷に悪友ひとり鳥渡る

優秀賞の長澤大我さんの作品。季語は「鳥渡る」で秋。この句の「悪友」は「親友」と置き換えてもいいかもしれません。しかし、親友では句として面白くない。敢えて悪友ということ、一層の親密感が漂いますね。悪友といっても法を犯すような悪行を働くわけではなく、青春のちよつとした悪さでも一緒にできるほど信頼しているのです。故郷にいるかけがえのない悪友。やがて、その悪友とも互いの進路の違いで、離れ離れになるのでしょうか。それを暗示するかのように渡り鳥が故郷の空を切々と飛び去ってゆくのです。

南風頬張るシャツが向かう海

優秀賞の原田千寿さんの作品。季語は「南風」で夏。俳句を作るうえで、擬人法は気を付けなると少し幼稚な表現になったり安易な詠み方になったりしがちです。けれども、この句の「頬張る」という擬人法は新鮮でした。たしかにシャツが風を孕んだとき、頬張るように膨れますね。この句は海に向かっている、潮風をシャツが頬張っているのです。潮風を孕んだシャツには、生き生きとした夢が詰まっていそう、これからの人生が海原のように輝き広がっているようです。

佳作の松澤さんの句は、「晩夏光」と「夢に到達する速さ」の取り合わせが光りました。河野さんの句は、物語性を感じ「連れて来い」の命令が力強く響きました。内野さんの句は、どんど焼きの情景を「竹の大砲」で見事に捉えしました。白井さんの句は、王朝時代的な「琵琶の

音」が典雅でした。岩見さんの句は、孤独を恐れぬ志をその歩みに見られました。

● 堀本 裕樹(ほりもと・ゆうき)

俳人。一九七四年和歌山県生まれ。「いるか句会」「たんぼ句会」主宰。國學院大學卒。第2回北斗賞、第36回俳人協会新人賞受賞。東京経済大学、二松學舎大学非常勤講師。著書に句集『熊野曼陀羅』(文學の森)、『富士百句で俳句入門』(ちくまプリマー新書)、芸人・又吉直樹との共著『芸人と俳人』(集英社)、漫画家・ねこまぎとの共著『ねこのほそみち春夏秋冬にやー』(さくら舎)、『俳句の図書室』(角川文庫)、シヨートシヨート作家・田丸雅智との共著『俳句でつくる小説工房』(双葉社) などがある。